



◀佐竹知事との
記念写真
山谷部会長(中)と
佐藤営農指導員(右)

ねぎ部会が農林水産大臣賞を受賞

ねぎ部会

地域農業をリードし、農業の模範となる優れた活動をしている産地や経営体を表彰する、ふるさと秋田農林水産大賞が11月22日、秋田ビューホテルで開かれ、ねぎ部会(山谷初男部会長)が産地部門で農林水産大臣賞と大賞を受賞しました。

同部会は、部会独自の品質検査体制や新規取り組み農家への重点指導による品質の底上げ、越冬大苗(7月どり作型)の普及による夏ねぎ出荷期間の拡大など、白神ねぎのブランド化や収益性の向上に向け、産地一丸となった取組が評価されての受賞となりました。

受賞式に出席した山谷部会長は「光栄な賞をいただき本当にうれしい。昨年度に続き今年度も白神ねぎの販売額は10億円を突破した。この賞を励みに12億、13億と目指していきたい」と話してくれました。



▲佐竹知事より表彰される山谷部会長

全国26産地から自慢のねぎが大集結

J Aあきた白神

ねぎの魅力についてPRし国産ねぎの消費拡大と地域の活性化を目的として開催されている「全国ねぎサミット2016」が11月26日、27日の両日、東京都品川区の大井競馬場で開催されました。

今年で7回目となる同イベントには、全国14府県から26の産地が参加し、多くの来場者で賑わいました。『白神ねぎ』は2回目のねぎサミットから参加し、今年は「白神ねぎ」や「きりたんぼ鍋」を販売しました。また、サミット内で今年度の開催地に能代市が決定しました。秋田県での開催は初めてで、東北では一昨年の山形県酒田市に次いで2度目となります。



▲賑わいを見せた白神ねぎブース前



▲栽培技術向上に理解を深めた

肥料・農業レベルアップ研修会を開催

稲作部会

良食味米の生産に向け生育管理のポイントを学ぶことを目的に、11月22日と24日の両日、平成29年用肥料・農業レベルアップ研修会を能代市工業団地交流会館で開催し、生産者ら75人が参加し、次年度へ向けて栽培管理に理解を深めました。

初日は秋田県農業試験場の上席研究員佐山玲氏による『平成28年水稻の作柄分析と次年度に向けての稲作技術対応について』などの講演が行われ、今年度の作況指数は104の「やや良」となったが地域差があることに触れ、水管理や施肥管理の重要性や、雑草防除の徹底などを呼び掛けました。

